

遠隔コミュニケーション

遠隔体験用デバイス 「IoANeck®」 IoA遠隔体験サービスパック

「新しい生活様式」への変容が進む中、遠隔による施設案内・商談・監査などのニーズが高まっています。

IoANeck®は首にかけただけで遠隔地と体験共有！

簡単に遠隔体験サービスを導入できる「IoA遠隔体験サービス※パック」としてご提供。

※トッパンの遠隔体験技術「IoA仮想テレポーテーション®」によるクラウドサービス



「IoANeck®」について

「IoANeck®」は、前面に搭載された端末から、高精細な映像やさまざまなコンテンツの送受信が可能です。

装着した人が見たり聞いたりしたものを、遠隔地にある画面を通じて臨場体験できるデバイスです。

このデバイスはクラウドを介して、複数人がアクセスできます。

1 「遠隔地を自在に移動」

遠隔地の行きたい場所へ行き、見たいものを見ることができます。

2 「人目線で視聴」

遠隔地の様子や風景を、その場所にいる人に近い目線で体験。

3 「ハンズフリーで撮影」

デバイス装着中でも、両手を自由に使って映像配信が可能。

「IoANeck®」外観



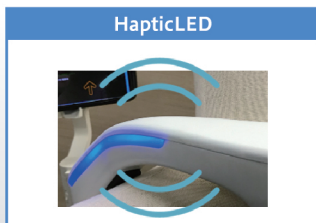
騒音下でもコミュニケーションを図ることができます。

装着部分に振動機構を搭載。遠隔地で画面を見ている人が、コントローラーを通じ「IoANeck®」を振動させることで、騒音下でも進行方向や向きの指示を出すことが可能。

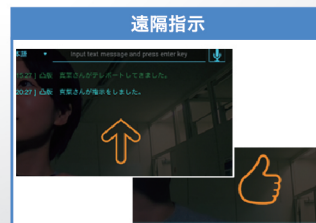
「IoANeck®」の主な機能



1台で複数拠点とつながり「新しい生活様式」に合わせた遠隔体験を実現。



遠隔指示を振動と発光により伝達装着者は騒音下での指示判別、周辺への注意喚起。



IoANeck® 装着者へ遠隔指示を判りやすくアイコン表示。



IoANeck® のカメラで遠隔地のユーザーが写真撮影可能です。写真はクラウドで共有。



IoANeck® 装着者から遠隔地のユーザーへ動画や資料など補足情報の発信が可能。



多言語による遠隔指示やテキストの送受信、言語の壁を越えた遠隔体験を実現可能。

詳しくは下のQRコードから



「IoANeck®」 活用事例

IoANeck®は人に装着するウェアラブル型コミュニケーションデバイス。人が行ける場所であれば、どんな場所でも装着者の視点での現地体験が可能です。



「IoANeck®」活用事例

遠隔自動車工場見学



東京の小学生が自動車販売店を見学。そのまま福岡の組み立て工場にテレポーテーションし現地スタッフの目線でモノづくりを体験。

遠隔ふるさと遠足



立入禁止エリアの復興現場を見学し、子供たちに貴重な体験を提供。

IoA学園®×筑波実験植物園



みんなの教室を植物園にテレポーテーション。貴重な植物や昆虫が目の前に。研究員の先生と楽しく、新しい授業体験。

協力：国立科学博物館筑波実験植物園 様
つくば市立九重小学校 様

遠隔農業体験



風光明媚な熊本の観光農園で遠隔みかん狩り体験。

遠隔ホップ生産地体験



ビールの魂とも言われる原材料「ホップ」生産地を遠隔体験するビール工場見学。CSVの取り組みと造り手の想いをアピール。

提供：キリンビール株式会社 様

遠隔安全点検・教育



監督者が全国の製造拠点にテレポーテーション。まるでその場にいるような感覚で現場の安全点検・指導。IoANeck®でつながる「安全意識」。

トッパン 川口工場

*「IoA仮想テレポーテーション」「IoANeck」「IoA学園」は凸版印刷株式会社の登録商標です。